



笑顔あふれるまちづくり

いいぬま雅子

品川区議会議員区政報告

NO. 368. 2011. 11. 6.

第3回定例区議会（決算特別委員会）報告その2

経済効果36倍！住宅リフォーム助成

制度の復活と拡充求める

地域経済活性化を目的に、昨年度始まった住宅リフォーム助成。好評だったのに、品川区は1年で終了。今年度から工事対象を極端に狭め、利用が激減。共産党は制度の復活と拡充を求めています。



昨年度は108件、喜ばれていた制度なのに、今年度は18件???

震化、介護のための改修など国や区の助成制度を活用した工事やエコ・バリアフリー化と同時に行う住宅リフォーム全体が補助対象になっていたのを使い勝手もよく利用が拡大しました。

ところが今年はエコ住宅とバリアフリー住宅のみに対象を縮小。区は「レベルアップして継続的に実施する制度に再編した」と答弁しました。

新年度は助成額を2倍に引き上げたものの、今年の実績は5か月間で18件と激減。使えない制度と言わざるを得ません。

制度の改悪は理解できません。全国でも地域経済活性化の起爆剤として喜ばれている制度です。共産党は制度の復活と拡充を求めています。



住宅リフォーム助成制度は、区内中小業者の仕事確保や受注拡大を目的に、昨年の緊急経済対策として始めた事業です。リフォームを区内中小業者に頼むと区から補助金が出ます。

建設4組合（東京建設・東京土建品川支部・南部建設技能組合・建設ユニオン城南支部）が一致して区長に要望し共産党も求め昨年実現しました。

経済効果36倍に！

昨年度の事業実績は108件。助成総額707万円に対し、総施工金額は2億5600万円。何と36倍の経済効果です。昨年度は防犯や住宅耐

無料法律相談会のお知らせ

11月18日（金）
12月15日（木）

時間…午後6時から8時
会場…いいぬま雅子事務所
弁護士が対応します。
お気軽にご予約を。

「救急医療情報キット」

写真の細長いケースの中に、

- ①救急情報用紙
- ②健康保険証のコピー
- ③かかりつけ医療機関の診察券のコピー
- ④薬剤提供書・お薬手帳コピー
- ⑤本人の写真を入れ

冷蔵庫に保存する。



自宅で具合が悪くなり、救急車を呼ぶような「もしも・・・」の時に、救急隊員に病気の情報を伝えるキットです。厚生委員会で、町会・自治会を中心に1000セット配布（1個250円）の報告がありました。活用が期待されますが、他自治体ではほとんど無料です。希望される方全員に無料で配布されるよう働きかけていきます。

これでいいのか小中一貫校

9月25日、第2回小中一貫教育と統廃合を考える全国交流集会在明治学院大学にて開催されました。

子どもの成長に合わない4・3・2制、運動会に象徴される無理な学校行事、期末テストなど小学生から行われる前倒し教育、狭い敷地に巨大な校舎をつくるために様々な

支障が生まれる学校生活、統廃合による子どもたちへの影響など幅広い議論が行われました。

アンケートによると、区民の3分の1がわからない、保護者の半数が評価しない「小中一貫教育」は、立ち止まり見直しをと共産党は求めています。

認知症講演会に参加しました。

認知症の理解を広げるために、認知症サポーターを養成しています。私の母は、くも膜下出血で認知症になりました。介護する家族の苦労は大変です。

◎相談は…「認知症の人と家族の会」

5367-2339（火・金10時から15時）

◎認知症を知るホームページ www.e-65.net